日本勤労者山岳連盟・静岡県勤労者山岳連盟

裾野麗峰山の会（sine１９９４）

第２３期・５巻　２０１７年８月号　ＮＯ．１９６

仲間と仲間を結ぶ機関誌

すーほう

Susono Reihou Alpine Club

山行ＮＯ．１７４７
０７月２８日（金）乗鞍岳

イ．第三回・理事会報告

＜第３県連理事会報告＞２０１７年７月９日（日）９：００～１１：３０　　清水区生涯学習交流館

【理事出欠状況】

伊豆ＨＣ　鍋島　要（○）	あさぎり山の会：斉藤富夫（○）	安倍っ子山の会：竹本幸造（○）
三島労山：山口美恵子（○）	あさぎり山の会：福原勝治（○）	ＮＭＣ　：海野美春（○）
裾野麗峰：後藤隆徳（○）	清水労山：千葉（代理）	山登歩山の会：花澤秀治　（○）
駿東山の会：近森正彦（○）	静岡労山：遠藤春代（○）	山の会ケルン：西森輝茂（○）
沼津労山：植松久美子（○）	静岡労山：瀧　茂（○）	浜松労山：磯部規子（○）
ふじ山楽歩：加藤秀子（○）	焼津山の会：木原　政子（○）	

＜会長あいさつ＞

１　各ブロック報告

【東部】（鍋島Ｂ長）　　特に動きなし

【中部】（花澤Ｂ長）

・県連交流ハイクの検討

・１１月１９日　自然保護デーにブロックとして取り組む

・５・６月　６回　会員向け登山教室を実施した。　講師　江藤さん（静岡）、参加者１８名前後

・５月２８日　クライミング交流会　講師　内田さん（NMC）　参加者８名　６月は雨のため中止

【西部】（磯部Ｂ長）　新しい動きはない

・ブロック交流　志向が様々なので公開ハイクなど検討

・会員拡大　ケルン　新聞広告を申し込み

２　専門部報告

【組織部】　後藤部長

各会の山行など投稿ブログを歓迎　　まめに更新していく

① 県連 HP　投稿が少ない　写真の貼り付けもできるので活用してほしい
旧 HP は削除予定

② 達人名簿　削除が数名　新規は０

③ 入会動機表　まだ全会そろっていない　　中間報告　⇒　別紙資料
出そろったら、「退会動機表」も作る

④ ネームプレート　メールでひな形配信　　各会独自性を出し使用していく
出来次第組織部に送る・・・いずれ、全国連盟にも提案する

⑤ 電子版会報　　後藤部長へ交流

【教育遭対部】　瀧　部長

① 事故報告　　６月４日　金峰山　７０代男性　登り始めから体調が悪くパーティーから遅れながら歩く。帰宅後、体調が悪化（うっ血性心不全）し救急搬送。２日間意識不明　３日目回復
全国連盟へ事故報告として送ったが、基金の対象となるか？　全国に判断をゆだねる

② 立岩事故検証を該当会で行い、報告書を作成した。　当面、クライミング教室は実施しない。

全理事に配布するかどうか、該当会会長と相談。

【自然保護】　木原　部長

清掃ハイク　５月２８日～６月１１日　各会で実施、現在まとめ中

３　ベルクバハト隊夏季訓練報告　　斎藤理事長

６月１１日実施　懸垂下降の基本・バックアップ方法

負傷者を背負っての下降、チロリアンブリッジなど

４　県内平和行進　報告　　山崎さん（焼津）通し行進

日付	参加者数	計	日付	参加者数	計
１９日	焼津１　伊豆４、三島１	6	２６日	焼津１、安倍っ子３、山登歩２	7
２０日	伊豆１７　三島１	19	２７日		1
２１日	沼津２	3	２８日		1
２２日	あさぎり７	8	２９日		1
２３日		1	３０日		1
２４日	安倍っ子１	2	３１日	安倍っ子１、NMC１	3
２５日	安倍っ子２、静岡２、NMC１	6			

５　安全登山講習会

資料のとおり

<u>参加人数を　教育遭対部長　瀧さんまで　　期日　９月１５日（土）</u>

６　リニア問題について　　竹本会長　　別冊子参照

◎大鹿村現地講演会　⇒　参加希望者は竹本さんまで

◎全国連盟理事会内「リニア問題検討会」設置

アピール文採択、９月以降署名を実施

福原（あさぎり）　東京地裁　訴訟の進行状況は？

竹本会長　　４回口頭弁論、意見陳述がおこなわれた

７　福島の子供プロジェクトカンパの取り組み

８連絡その他

①　新特別基金担当者会議報告　　別冊資料

主な変更　・ドア　to ドアの廃止

・ゲレンデスキー　原則対象としない　リフト券についている保険などを活用

＜名称＞　新会員に目的・内容などわかりにくいので変更を検討していく

②　全国的な集会・会議

全国ハイキング学校、第２０回自然保護講座　　⇒　今のところ希望なし

第１回全国救助技術交流会　　⇒　ベルクから２名希望

カザフスタンは希望を出したがすでに定員に達していた

全国自然保護担当者会議、女性と登山全国集会　　⇒県連として代表を出していく

＊第４回理事会　１０月２９日（日）　午前（安全登山教室の前）清水区役所で予定

２０１７年　**安全登山講習会**

山の天気の基本と、気象遭難を防ぐための天気図の見方

講演：株式会社　ヤマテン

河野（こうの）　卓郎（たくろう）氏

《演題》

・天気はどうして崩れるのか、山麓と山で天気が異なるのは何故なのか等、山岳気象の基本の部分から見ていきます。そして、気象遭難の中でも最も多い低体温症について、過去に発生した具体的な遭難事例を取り上げます。
具体的な遭難事例を通して、低体温症のリスクを回避するための天気図の基本的な見方や、特に覚えておきたい観天望気のポイントを見ていき、気象遭難のリスクを低減させるノウハウを学びましょう。

《講師プロフィール》

国内唯一の山岳気象予報専門会社ヤマテンに所属。幼少期は房総の山に親しみ、学生時代は信州大学山岳会に所属し、伊那谷を拠点に、四季を通じて登山を楽しむ。「現場で役立つ」講習を心がけます。

日　時：2017年10月29日(日)
13:10～15:45　(開場12:30)
会　場：静岡市清水区役所内『ふれあいホール』

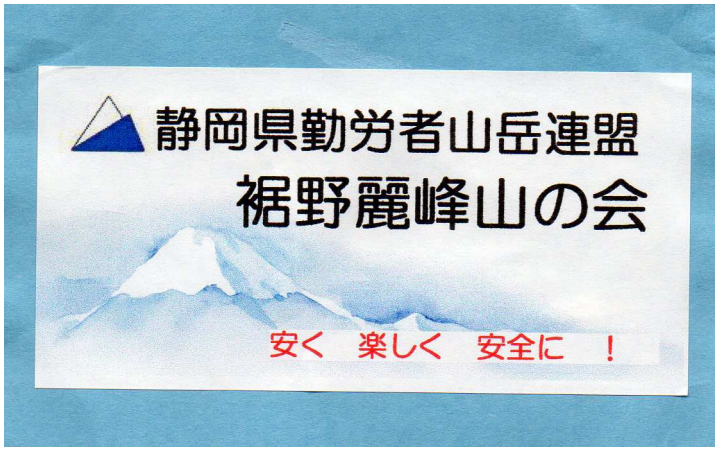
無料駐車場 50 台

参加費：無料　　定　員：２５０名
主催：静岡県勤労者山岳連盟
担当：教育遭対部　瀧　　茂
（電話：０５４－２８２－０６４０）
E-mail：cxe05015@nifty.com

ロ・報告事項

１．８月度、例会なし

２．会名表示ワッペン・・・県連組織部のザック・帽子等に付ける、会名ワッペンを作る。
名刺大。富士山の絵柄に会名を乗せる。１ヶ＝２００－くらい。
経費は会負担。加藤担当・・・試作品出来ました。



ロ・山行実績

１．０７月０８日（土）　夏山訓練＝富士山・宝永山２３５２ｍ峰＝５名

２．０７月１６日（日）　西丹沢＝不老山・番ヶ平北尾根＝２名

３．０７月２４日（月）　地域研究協力＝越前岳＝５名

４．０７月２８日（金）～２９日（土）夏山合宿・１＝乗鞍岳、焼岳（中尾口）＝８名

５．０７月３１日（月）～８月７日（月）夏山合宿・２＝北海道・夕張岳、暑寒別岳、幌尻岳、後方羊蹄山（しりべしやま）＝２名

６．０８月０７日（月）～０８日（日）　荒川三山＝？名

７．０８月１３日（日）　リバー・ウォーク＝狩野川本流＝３名

ハ・今後の予定

１２月２８日（木）～３０日（土）　仙丈ヶ岳・小仙丈尾根（リベンジ山行）

１２月０２日（土）～０３日（日　女性と全国登山集会＝国立女性教育会館

１１月１９日（日）　東部ブロック交流ハイク＝天城・八丁池

詳細は、メールで送信済

二・入・退会者

入会＝合谷守明（６月１日）、退会＝沖　弘、浜道久美子

中央左が合谷さん

ハ・山行報告

裾野麗峰山の会・山行報告書

文・ＫＨ　　写真・ＧＴ

山行NO　　ＮＯ．１７４４

日　時　　２０１７．０７．０８（土）

山　域　　富士山・宝永山２３５２ｍ峰

コース　　洞門発７：１４－上塚・下塚コル－幕岩分岐―宝永第三火口―第二火口―２３５２ｍ峰１０：５０－第三火口上（昼食）１１：１５～１２：１１－周遊道１３：５５

標高差　　上り　洞門約１２８０ｍ～宝永山２３５２ｍ峰＝約１０７２ｍ峰（ただし長い）

　　下り　宝永山２３５２ｍ峰～周遊道約１３６０ｍ＝約９９２ｍ

参加者　　ＧＴ、ＭＭ、ＫＨ、ＨＡ、ＨＴ＝５名

涼しい涼しい、富士の山

御殿場口洞門で合流。下山用として幕岩沢（仮称）下部の周遊道駐車場へＫ車をデポ。ＣＬ車は洞門に戻り身支度を整えて出発。足元は砂地を歩く為、暑いけれど我慢してスパッツを着用する。ただ、Ｋだけ忘れてきたので、片方をハンカチで、もう片方をタオルで足首を巻いて砂が入らないように工夫した。「困ったと思わず、どうしたら砂が靴に入らないようにしたら良いか」考え方が常に前向き姿勢のＫであるが、やっぱり装備はキチンと準備をしたほうが良い。

直射日光を避け、尾根筋の樹林帯を登る。５分程歩いただろうか、突然ＣＬがＫに「鍵は持ってきたか？」と振り向いた。「あっ！ＣＬの車の中に置いてきた！」と声をあげ、ＣＬの車の鍵を借り「全くこれだから油断も隙もあったもんじゃない」とぼやくＣＬの言葉を背中で受け止め猛ダッシュで取りに戻る。早く気がついてくれて良かった。これが、トラブル＝１。忘れたままだと、ぼやきだけではすまない。ドンマイ！ドンマイ！春蝉がこの上なく煩く応援してくれた。

夏椿

途中に夏椿の花が一面落ちていた。余りに多いので、ＣＬが「何故だろう」と首を傾げる。私が「夏椿は一日花。一晩で落ちる」という。ＣＬは「嘘だろぅ～」で賭けになった。結果は、後でＨａがネット検索で一日花と分かった。ＣＬは、ガックリ。

ハリスホーク

大石茶屋から幕岩への登山道を横切り真っすぐ二ッ塚の下塚を目指す。足元に砂地が多く目だつようになる頃樹林帯を抜け、振り子沢から上塚の二つ塚分岐に到着。富士山はガスがかかって見えない。空気はヒンヤリ冷たい。登山道標識の上に２羽の鷹（正式名称＝ハリスホーク）がチョコンと乗っかっていた。最初、御殿場市が新たに作った模型と思った。ＣＬが声をかけると持ち主の随分と無愛想なつっけんどん返事が返ってきた。まるで話かけられるのが迷惑だ・・・みたいな。会話が続かないので早々に立ち去る。人間馬鹿でもチョンでも、やっぱ愛想のいい方がいい。こんな広い空の下で飛ぶことも出来ず、鎖に繋がれたままの鷹も哀れに思えた。何故、山に鷲を連れて来るのか、理解に苦しんだ。

幕岩上から大きくトラバースして宝永第三火口に向かう。御殿庭入口から立木の背も低くなりいよいよ富士山の箱庭みたいな雰囲気が濃くなってきた。左下に御殿庭、道は砂地のザレ場が傾斜をつけて伸びている。此処でお昼にするというＣＬの言葉に、夏山訓練のため歩荷をしてきた４人の女性は、「それなら余分な荷物は置いていく」と此処にザックをデポ。「あと１時間くらいだよ」とＣＬは言うが、何て言ったって砂地は歩きにくく、「かよわい女性」（？？）の足では大変なのだ。

オンタデ

イワツメクサ

フジハタザオ

イワツメクサ、イタドリ、フジハタザオ、タイツリオオギ（花未開）、ミヤマオトコヨモギ（Ｋはオトコヤモメと覚えてしまい笑われた）が可憐に咲いている。御殿庭上まで砂地を一気に登り、其処から又樹林帯の中のえぐれた細い登山道の急登を額に汗し無言で登った。前方が開け右手に赤岩、正面に岸壁が見えた。宝永第二火口までもうすぐだ。足元は一歩登っても半歩下がるゴロゴロ岩で歩きにくい。ここでＨｏさんの腿がつり悲鳴があがる。これがトラブル＝２。一歩も無理だと待機する。其れから僅か１５分で予定の２３５２ｍ峰に到着。ガスの合間に頂上が見え隠れし、その下の火口が秀麗なカーブを描き素晴らしい景観だ。富士山はやっぱり見る山だ。歩みを止めると肌寒く、直ぐに下山開始。

２３５２ｍ峰

下山

スイカ

昼食

帰りは早い。ズルズル下ってアッという間にザックをデポした御殿庭上着。Ｋが背負いあげたモロコシ、スイカに舌鼓をうち、ＣＬが丹精込めて育てた胡瓜のぬか漬け、現場の塩がけ枝豆、玉子焼き。又皆が持ち寄っての豪華なランチタイム。う～ん。至福のひとときだ。ノンアルコールが一際うまい！満腹状態で一服していると、先ほどの鷹連れ夫婦？がやってきて、叉分岐の標識の上に鷹を乗せ、富士山をバックに写真をとりまくっていた。

下山は二ッ塚を回らず、一気に幕岩沢下の周遊道駐車場に下る。御殿庭下あたりでＣＬの右足の登山靴が大きく口を開いてパクパクし始めた。これがトラブル＝３。Ｍさんから手袋を貰い靴の先端にかぶせ、Ｈａさんから靴の紐を貰ってきっちり縛る。応急処置はバッチリＯＫ。塩梅がいいと快適に歩を飛ばす。

左の大きな涸沢に沿って樹林帯の中を下るが道は殆どない。途中、シロバナイチヤクソウを見た。既に咲き終わった山芍薬の大群にも出会い、「来年はこれを見に来よう」と話をしているうちにデポ車に到着。お胎内温泉で汗を流しサッパリとした所で帰路に着く。トラブルは三つあったが、まあまあ無事でよかった。この時期、富士の山は、涼しい涼しい快適なハイクでした。

シロバナイチヤクソウ

ヤマシャクヤク

裾野麗峰山の会山行報告書

文・ＨＡ　　写真・ＨＡ、ＧＴ

山行番　　ＮＯ．１７４７
日　時　　２０１７．７．２８（金）曇り時々晴れ
山　域　　乗鞍岳（３０２６ｍ）
コース　　長泉５：００ー諏訪湖ＳＡー松本ＩＣー乗鞍高原ー三本滝ー肩の小屋口９：００—肩の小屋１０：００ー乗鞍岳剣ヶ峰ー肩の小屋ー肩の小屋口１２：３０ー三本滝１３：００～１４：００ー中尾温「焼乃湯」１５：００
標高差　　上り＝畳平２６１５ｍ～乗鞍岳３０２６ｍ＝約４１１ｍ
　　下り＝　　〃
参加者　　ＧＴ（L)、ＫＨ、ＨＴ、ＨＡ、ＧＭ、ＫＹ、ＭＭ、ＭＴ＝８名

秋もすばらしいようです

　今年は、梅雨明け後の天気がすっきりせず、今日も曇りの中出発した。
松本ＩＣを降りたあたりから小雨がふりはじめ、みんなのテンションも下がり気味。梓ダムを渡り上ってゆくと、ＫＨが「青空が見える」と叫ぶ。仰げば、確かに青空が見えた。「今日は行ける」と思った。

乗鞍岳

国民宿舎前のバス停には、かなりの人が待っていたが、その先まで行けるとのことで、三本滝まで向かう。再び霧が出ていて、雨も降りそうである。
準備しているとタクシーの運転手さんが、バスと同じ料金で乗せてくれるとのことでお願いする。（２５００ー＋１５０ー）柳沢忠治運転手さん曰く、上は霧が晴れているとのことで、二台に分乗し、畳平に向かう。
ヤナギラン・クルマユリなどの花や冷泉の滝などガイドを聞きながら登っていくと途中から信じられないことに晴れてきて、乗鞍岳の姿が、美しく現れた。上は、花も見ごろとのこと。期待が持てた。
畳平に着くと、下の雪渓では、夏スキーヤーが登っていた。雨かと思ていたのに快晴で暑いくら

である。大丈夫そうなので、アイゼンなしで、雪渓を慎重に登る。

クルマユリ

シナノキンバイ

肩の小屋に着くと沢山の中学生（愛知県刈谷市４００名）が登っている。大変だ！とりあえず、腹ごしらえをし、登り始める。あちこちに高山植物が花を咲かせ美しい。

イワツメクサ

ハクサンイチゲ

中学生を大勢抜かし、頂上下のコルに着くと、眼下に権現池が見え、雪解けの青い氷が不思議だ。頂上直下は、かなり大きな石がゴロゴロしており、風も出てきた。中学生の横を抜けなんとか頂上に登頂。残念ながら、雲がでており眺望は望めなかった。頂上神社には宮司が記念品を販売していた。毎日下から上って来るそうだ。

山頂は、中学生でいっぱいなので、すぐに下山することに。下りはじめると更に登ってくる人が増えてきて、たいへんな混雑である。
肩の小屋での昼食をあきらめ、タクシーに迎えの連絡をする。肩の小屋からは、登りも下りもいない。ほとんどの人が、山頂バス停からの登山のようだ。雪渓に近づくとスキーヤーが見事な滑りを見せていた。

コマクサ

下部雪渓

ヤナギラン

肩の小屋口につくと丁度タクシー１台到着。ぴったりでした。
またいろいろお話しを聞きながら、三本滝へ。アルバムを見せて頂き、秋の紅葉の素晴らしい写真も頂く。秋もいいですね。
三本滝のベンチで昼食。ＧＭシェフの手料理をいただきました。ごちそうさまです。
今夜の宿、中尾温泉焼の湯着。お風呂に入り、夕食を食べ、明日に備え早々に就寝しました。

乗鞍岳頂上

裾野麗峰山の会山行報告書

文・ＧＭ　　写真・ＧＭ、ＧＴ

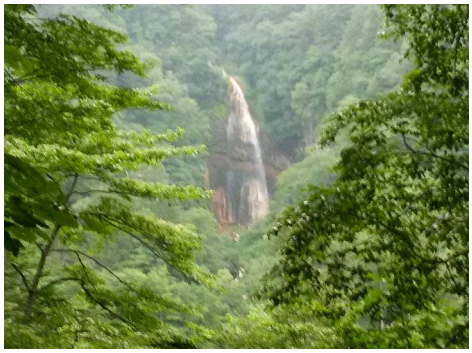
山行番　　ＮＯ．１７７７-２
日　時　　２０１７．７．２９（土）曇り
山　域　　焼岳北峰（２４４４ｍ）
コース　　起床４：００ー焼乃湯４：４５ー登山口５：１０ー焼岳小屋分岐７：１０ー旧中尾峠７：４０ー焼岳北峰８：４０～９：００ー中尾峠９：５８ー焼岳小屋分岐１０：１８ー登山口１１：５０—焼乃湯１２：００
時　間　　上り＝３時間３０分、下り＝２時間５０分
標高差　　上り＝登山口１２８０ｍ～焼岳北峰２４４４ｍ＝約１１６４ｍ
　　下り＝　　〃
参加者　　ＧＴ（L）、ＫＨ、ＨＴ、ＨＡ、ＧＭ、ＫＹ、ＭＭ、ＭＴ＝８名

穂高が見えず残念・・・

朝、4 時前に起床。旅館で作ってもらった朝食のおにぎりとゆで卵（柔くて殻が剥けない）、それに自宅から持ってきた忍野産トウモロコシを食べて、5 時前に旅館を出発。曇り空で、登山口に到着する前から蒸し暑い。

登山口

登山口から上り始めると、すぐに急坂のうっそうとした森の中に突入。
風もなく、蒸し暑く、ただひたすらに登りが続き、汗が滝のようにでてきて、まるでサウナ風呂に入っているような状態になる。
途中に白水の滝（しらみずのたき・４５ｍ）を遠望。地肌が茶色なので、水が濁って見えた。


白水の滝

しばらく歩いて、森の中の神社で休憩。何でこんな森の中に神社があるだろう？調べたら、三木姉小路秀綱（みきあねがこうじ ひでつな）でした。

https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A7%89%E5%B0%8F%E8%B7%AF%E7%A7%80%E7%B6%B1

秀綱神社

休息後、しばらく登り続けるとうっそうとした森から抜けて、視界がよくなり、少しは歩き易くなった。さらに登り続けると焼岳小屋分岐があり、焼岳方面に向かう。しばらく登るとあざみが咲き乱れる広場のような場所があった。このアザミは、「ノリクラアザミ」と呼ばれるもので、普通のアザミに比べ、葉のギザギザが少ないのが特徴。

焼岳小屋分岐

ノリクラアザミ

さらに登ると岩場になり、いよいよ焼岳北峰に向かう厳しい最後のルートとなった。
そこからは中尾温泉からだけではなく、上高地方面からの登山者とも合流し、ルートは渋滞状態となった。特に夏山登山の高校生グループもおり、渋滞の原因になっていたようだった。中尾峠ルートは、中の湯ルートに比べ、やや厳しい感じだった。ようやく中の湯ルートと合流し頂上までわずかになった。激しい硫黄の吹き出しを左に見て、ちょっとした岩場のステップを越えると、頂上の標識と多くの登頂者が見えた。私は写真撮影でやや遅れたが、皆さんは記念写真を済ませていた。

焼岳山頂は人が多く、短時間の休憩後、下山となったが、ビールを頂上まで持ってきたので、後藤さんすら飲まないのに、私は意地で一本飲みました。また、一瞬視界が開けてお釜池？も見ることができました。ただ、霧で穂高連峰が見えず残念だった。

頂上直下

焼岳北峰山頂

頂上お釜

帰りは、登ってきたルートをただひたすら下るだけで、かなり脚が疲れました。
中尾温泉からのルートはかなり厳しいと感じましたが、ケガもなく、１２時前に下山できて良かったです。
下山後の焼乃湯の温泉は本当に気持ちがよく、足の疲れもだいぶ回復したように思います。

女性班

硫黄噴出口

変なオジサン

懐かしいフランス製ザック

下山

旧中尾峠

キリフネソウ

駐車場

焼乃湯館

美味しい昼食

飛騨トンカツ

ＧＭさんの豪華ランチ

更にソフトクリーム

その他の記述（ＧＴ）

１．下山中、尻から転倒した際、右手が腐れ木に突っ込み、右手親指の爪の間に、腐れ木が入り込み受傷。下山時は、転倒し手を突く可能性が高い。グローブをはめて、手指を保護したほうが良いと痛感した。
２．頂上に高校生の一団。前後して上って来た。上級生は大人っぽかったが、下級生は子供っぽかった。Ｍさん、しきりに女子上級生が気になった？？！！
３．下山時、ザックに動物の縫いぐるみ３体を入れたオジサンと遭遇。結構、イイ歳に見えたが、何かヘンなオジサンだった。
４．下山後、焼乃湯で無料入浴。なかなかイイ温泉。ここは、二十年くらい前に宿泊した。
５．宿から林道を上った場所に、温泉の発電施設があった。

（了）

８月号・おわり